



発行 株式会社 昭和土木設計

岩手県矢巾町流通センター南4丁目1-23 Tel 019-638-6834 Fax 019-638-6389

～令和7年版国土交通白書のポイント～

1. はじめに

6月24日、「令和7年版国土交通白書」が国土交通省から公表されています。今年の白書のテーマは、「みんなで支え合う活力あふれる社会を目指して」です。

少子高齢化・人口減少が深刻化する中で、労働力の減少が懸念されています。公共サービスの担い手不足の現状を整理した上で、サービスの存続・維持に向けた供給者側の取組と、需要者側（主に国民）の理解と協力の必要性などが記載されています。

今回のインフォでは、「令和7年版国土交通白書」の内容について、筆者の視点でポイントをまとめてみます。

2. 公共サービスの現状

(1) 建設業の現状

建設業は、労働時間が他産業に比べて長く、賃金も低い状態です。高齢化が顕著であり、今後も就業者の高齢化・若年者の入職の減少が見込まれ、中長期的な担い手の確保・育成が喫緊の課題になっています。

次の図は、生産年齢人口の推移を予想しています。若年層の人材の確保が一層厳しくなっています。



(2) 建設技能労働者の需給バランスの将来推計

将来推計の結果に基づく建設技能労働者数の需給ギャップは、「2020年基準」パターンと「生産性向上パターン（15%）」の双方で2030年度、2035年度とも供給量が不足すると予想されています。生産年齢人口の減少を上回る生産性の向上が求められています。

(3) 地方公共団体の職員不足

民間事業者だけでなく地方公共団体においても、業務を担う職員が減少しています。市区町村の技術系職員数では、5人以下が全体の半数を占め、1人もいない市区町村が全体の25%を占める状態になっています。

(4) 公共サービスの制約に対する国民意識（需要者側）

サービス水準の低下が生じると困るものをたずねたところ、「メンテナンス不足で、水道の断水・漏水が発生する」と回答した人が最も多く、次に、「近くの鉄道やバスが減便・廃止される」、「宅配便や郵便物が届くまでの時間が延びる」が多く、生活に密着したサービスの維持が求められています。

また、公共サービスの制約の緩和策について、「国民（サービスの需要者）の協力や、制約の理解を得る」と回答した人が多くなっています。

3. 公共サービスの存続・維持のための方策

(1) 処遇改善、担い手の拡大

賃上げなど処遇改善策として、建設技能者の経験や職歴を「見える化」し、適正な評価を受けられる「**建設キャリアアップシステム (CCUS)**」の導入が進められています。

担い手の拡大については、外国人材の受入れや、女性の活躍と定着を推進しています。新職種として「建設ディレクター」の活用が期待されています。施工書類の管理、ドローン操作や3次元設計等のICT業務を行う新たな職種です。

(2) 省人化・省力化技術の利活用

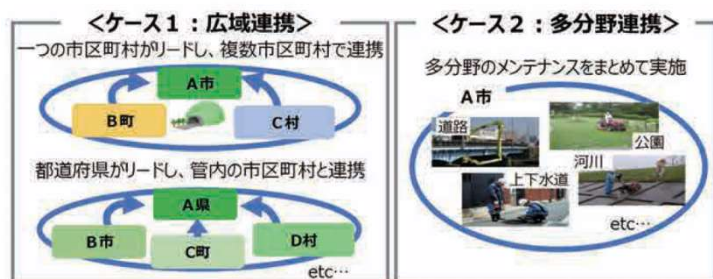
2024年4月に更なる建設現場の省力化対策として、「i-Construction2.0」が策定されました。「施工のオートメーション化」、「データ連携のオートメーション化」、「施工管理のオートメーション化」により、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を目指しています。

(3) サービスの供給方法の見直し・需要者側の協力

① 地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）

個別インフラの維持管理に加え、広域・複数・多分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントする「群マネ」の活用が期待されています。「群マネの手引き Ver.1」が近々公表される予定です。

地域インフラ群再生戦略マネジメント（広域・多分野の考え方）



② 包括的民間委託

「**包括的民間委託**」とは、公共施設の管理・運営に関する複数の業務を包括的に委託する契約方法です。市区町村は発注業務の効率化が図られ、民間事業者は一定規模の業務を一定期間実施できるため経営の安定化が図られます。

③ 住民参加型インフラメンテナンス

一部の地方公共団体で、住民参加による橋梁日常点検や、住民による水道メーターの検針代行業務など、新たな取組が進められています。

<「橋ログ」を活用した住民による点検状況>



<市民が水道メーターを撮る様子>



4. おわりに

建設業は「**地域の守り手**」として、災害の最前線で地域社会の安全・安心を確保する重要な役割を担っています。魅力ある業種の要素として、「やりがい」を含めてもらえればと感じています。

※【参考資料】国土交通省 報道・広報 令和7年版国土交通白書を公表します
https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo01_hh_000064.html

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路、河川・砂防、橋梁等の計画・設計、CIM、i-Constructionに対応した3次元空間計測及び設計を行っています。

”なんでもインフォ”のバックナンバーについては<http://www.showacd.co.jp>をご覧ください。

作成者：コンサルタント事業部
 鈴木 浩行